

## 赤ちゃんより先に退院されるママへ

### ★面会方法（面会時間に関しては看護師より説明させていただきます）

- ・ 自宅でおっぱいを搾りましょう。
- ・ 感染予防のため、ご両親のみが入室して直接面会ができます。
- ・ 面会に来られた時には、インターホンでお知らせ下さい。
- ・ 発熱・咳・下痢・熱のはな・手の化膿などがありましたら、必ず入室前にスタッフにお知らせ下さい。
- ・ 赤ちゃんが保育器から出られるようになり、点滴などの治療の必要が無くなれば、直接抱っこして授乳することができます。
- ・ 赤ちゃんの退院が決まり、必要であれば退院前母児同室をすることもできます。



## 赤ちゃんが入院中のママへ、退院後の搾母乳について

持ってこられた搾乳は、細菌の有無を調べます。  
細菌が検出された場合は、その搾乳を使用しないこともあります。  
その時は、説明させていただきます。

### ★搾乳の方法

- ①手を洗いましょう。
  - ・ 指の爪は短く切りましょう。（つけ爪は細菌の温床となります。）
  - ・ 液体、または泡状石けん（詰め替え・固形は控えます）と流水で、念入りに（最低30秒以上）洗います。
  - ・ 手は、洗濯した乾いたタオルで拭きます。
- ②おっぱいの準備をしましょう。
  - ・ おっぱい専用のタオルを決めてください。
  - ・ 乾いたタオルをお湯に湿らせ、乳首→乳輪→乳房の順に拭きます。
  - ・ 特に乳首を丁寧に拭きましょう。
  - ・ マッサージをして、母乳の分泌を良くします。
- ③搾乳をしましょう。
  - ・ 初めの5. 6滴は搾乳器を使わずに手で搾り、捨てましょう。
  - ・ その後、手または搾乳器を用いて消毒後の乾燥させたビンに搾ります。
  - ・ ビンの消毒は、ミルトンまたは煮沸消毒した物を使用して下さい。

★母乳パットの取り扱い方（母乳パットは薬局や育児用品店などで購入できます。）

※母乳パットの取り扱い説明をよく見て、手順通りにパッキングをお願いします。

- ① 1回の搾乳につき1パットを使用し、すぐに冷凍して下さい。（細菌繁殖防止）
- ② パットに指を入れたり、息を吹き込んで袋を広げないで下さい。（細菌混入防止）
- ③ パットに搾乳を入れ中の空気は抜いて、完全に密閉し封をします。  
パット記載の手順に従って封をして下さい。セロテープなどでは固定しないで下さい。
- ④ 搾乳日時と量、フルネームを必ず油性ペンで記入して下さい。（にじみ消え防止のため）  
赤ちゃんのお名前が決まりましたら、お母さんと赤ちゃんのお名前両方を記入して下さい。
- ⑤ パットに入れられる上限以上の量を入れしないで下さい。  
入れ過ぎは破れや解凍時に漏れて、衛生上使用できなくなることがあります。  
漏れないことを確認してから凍らせて下さい。

※母乳パットを清潔に保つために、搾乳やパッキング中は、すぐ側でのおしゃべりは避けましょう。

### ★病院への持参方法

- ① 完全に冷凍した母乳をクーラーボックスなどに入れ、溶けないように持参して下さい。  
（保冷剤など利用しましょう。）
- ② 当院では搾乳してから2ヶ月以内のものを赤ちゃんに飲んでもらうようにしています。

### ★持参量の目安

お預かりできるスペースに限りがあります。

1日哺乳量×次回面会までの日数の母乳+数パットをその都度持参をお願いします。

例) 1回35ml×8回=1日量280ml 次回面会まで3日ある場合

280ml×3日=840ml+数パット持参下さい。自宅での保管と合わせて、ご協力をお願いします。

母乳は1日量を1度に解凍しています。

赤ちゃんの1日に飲んでいる量を把握して、パッキングや持参の目安にして下さい。

※体重や状態によって哺乳量は増減します。

預かり搾乳の残量や1日の哺乳量など、遠慮なくスタッフに聞いて下さいね。

### ★搾乳が使用できない場合

- ① 熱がある時、咳や下痢をしている時
- ② おっぱい・乳首が荒れたり、化膿している時
- ③ 薬を飲んでいる時は必ずスタッフに相談して下さい。

★分からない点、困った点などあればスタッフに声をかけて下さい。

